

推奨薬・オプション薬処方実績に関するコメント（6月分まとめ）

① 庄原赤十字病院

- ・ 先月見直しの行われたプラバスタチン・カンデサルタン等に関しては、順調に切り替えが行われ、処方数を伸ばしています。
- ・ 今月はフェキソフェナジンが新たに採用されましたので、処方数の報告をしております。

② 庄原市立西城市民病院

- ・ 今月は、ロサルタン、アジルサルタンの処方数増加が目立ちました。

③ 市立三次中央病院

- ・ ARBに関しては、引き続き、アジルサルタン錠 20mg が増加し、カンデサルタン OD 錠 8mg が減少していました。
- ・ PPIに関しては、引き続き、エソメプラゾールカプセル 20mg が微増し、タケキャブ錠（10mg・20mg）が減少していました。
- ・ スタチンに関しては、推奨薬、オプション薬ともに横ばいでした。
- ・ No. 4～No. 6（推奨薬）に関しては、引き続き、フェキソフェナジン塩酸塩 DS5%が、減少傾向にありました。
- ・ No. 7～No. 9に関しては、今後データが揃い次第、評価したいと思います。

④ 三次地区医療センター

- ・ ARB：オルメサルタンは減ですが、テルミサルタン・アジルサルタン増で全体数は増加、推奨薬の比率も維持できています。
- ・ PPI：先月のボノプラザン減、ランソプラゾール増加の状態が継続しており、推奨薬の比率も高いままです。
- ・ スタチン：推奨薬減・オプション薬増で、推奨薬の比率が大きく低下していました。全体数も減少しています。
- ・ α -GI：ミグリトールは先月より倍増していますが、1～5月の平均をやや上回る程度です。
- ・ 抗ヒスタミン：全体的に処方が減っています。
- ・ 鎮痛剤：アセトアミノフェンが大きく減少していました。